

## (6)奥武山公園 弓道場

### 施設の概要

項目	施設情報
所在地	那覇市奥武山町44番地の1
敷地面積	4,866.97㎡
構造・階数	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地下1階
建築・延床面積	1,151.54㎡・1,041.10㎡
建築年	平成24年（2012年）4月（改築）【築14年】
法定耐用年数	60年
耐震性	有
根拠法令等	沖縄県立奥武山総合運動場の設置及び管理に関する条例
総事業費	昭和48年（1973年）：不明 平成23年（2011年）：339,710千円（国庫105,601千円）

項目	仕様・概要
縦(m)×横(m)	(近的) 縦27.5m 横44.5m (遠的) 縦81m 横20.5m
観客席数 (固定席)	70席(観客68席、車いす席2席)



遠的場



近的場

## (6)奥武山公園 弓道場

### バリアフリーの状況

分類	チェック項目	評価	補足（現地観察・資料コメント）
1. 敷地内通路・出入口	通路幅120cm以上	○	十分な通路幅あり。
	滑りにくい仕上げ	○	舗装面は良好。
	段差なし／スロープあり	△	一部段差残存（遠的場付近）。
	出入口幅80cm以上	○	開口幅確保。
	自動ドア等で容易に開閉	×	手動開閉。
2. 廊下・動線	幅120cm以上	○	広さ確保。
	滑りにくい仕上げ	○	問題なし。
	階段・傾斜路前に点状ブロック	×	未設置。
3. 階段・傾斜路	手すり設置	△	一部手すり設置。
	勾配1/12以下	○	スロープ部は基準内。
	段鼻色コントラスト	△	明度差小。
	滑り止め仕上げ	○	
4. エレベーター	各階停止	-	
	出入口幅・籠奥行確保	-	
	操作盤高さ適正	-	
5. 便所	車いす用便房あり	×	未設置。
	オストメイト対応便房	×	未設置。
	出入口段差なし	×	一部段差あり。
	手すり・便座配置適切	×	不備。
6. 駐車場	車いす用区画（幅350cm）	△	近隣共有駐車場のみ。
	出入口近接配置	△	歩行距離やや長い。
7. 案内・標識	バリアフリー案内表示	×	なし。
	点字・誘導ブロック設置	×	未設置。
8. 客席・観覧席	車いす席確保	×	常設席なし。
	同伴者席隣接	×	—

資料：沖縄県福祉のまちづくり条例等を参考に作成

# (6) 奥武山公園 弓道場

## 国スポ基準との整合性(弓道)

- 国スポ開催に必要な基本的施設条件には概ね適合しているが、遠的場においては矢取道及び大的上部の屋根が未整備であり、望ましい施設水準の確保に向けた追加整備が必要である。

### ■弓道競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
●規定の弓道場	○
●遠的競技場（仮設でもよい）	○
●射位における選手相互の間隔は、近的競技は180cm以上、遠的競技は160cm以上とする	○
●矢取道、観客席は、屋根があることが望ましい	× (遠的なし)
●大的上まで屋根があることが望ましい（遠的）	×

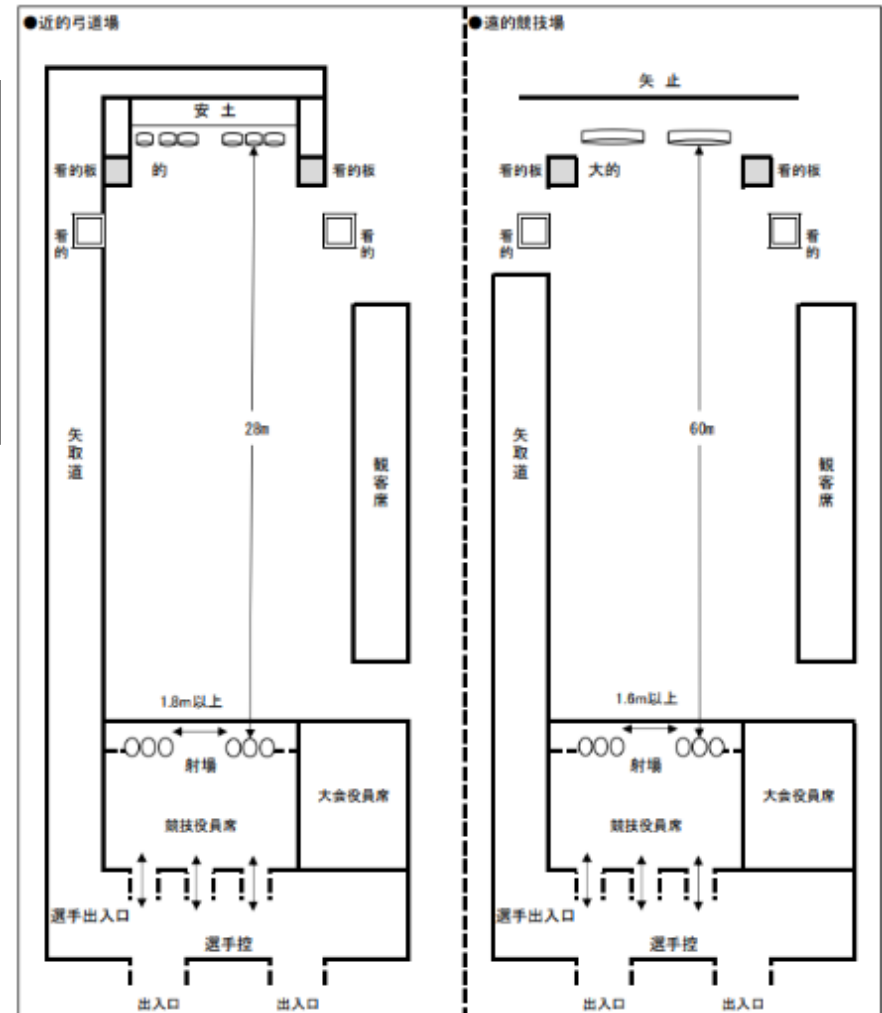
資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版（案）」、  
（公財）全日本弓道連盟「弓道競技規則」から抜粋



遠的場の大的上部は屋根がない



遠的場の矢取道は屋根がない



## (6)奥武山公園 弓道場

### 施設改修の対応方針の検討

- 国スポ開催においては、遠的場の矢取道及び大的上部の屋根が未整備のため、優先的に実施する必要がある。
- 併せて、庇の拡張による競技環境の改善、バリアフリー改修、倉庫機能の補完を進め、観客席は仮設対応とする。

区分	主な課題	改修重要度	対応方針（案）
建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 射場への雨風の吹込みがあり、競技環境に影響あり（遠的場・近的場）</li> </ul>	高	改修：庇の拡張を実施し、競技環境を改善
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 点字ブロックが観客席まで連続していない</li> </ul>	高	改修：出入口から観客席・便所等まで連続した誘導ブロックを整備し、移動の連続性を確保する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部スロープ前グレーチングの目が大きく、杖・車いす利用に配慮が不足</li> </ul>	中	改修：外部スロープ前のグレーチングを細目仕様に更新
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手すりの点字表示が未整備</li> </ul>	中	改修：階段・傾斜路等の手すりに点字表示を整備
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多目的トイレ入口のインターフォン高さが高く、車いす利用者等に配慮した仕様となっていない</li> </ul>	中	改修：インターフォン位置を車いす利用者等に配慮した高さへ改修
施設基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠的場において矢取道の屋根が未整備</li> </ul>	高	改修：遠的場の矢取道の屋根整備を実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠的場において大的上部の屋根が未整備</li> </ul>	高	改修：大的上部の屋根整備を実施
運営機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠的場に倉庫機能が不足</li> </ul>	中	新設：遠的場の大的周辺に倉庫を整備
観客席	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観客席の不足</li> </ul>	低	仮設：観客席は仮設対応で実施

## (6)奥武山公園 弓道場

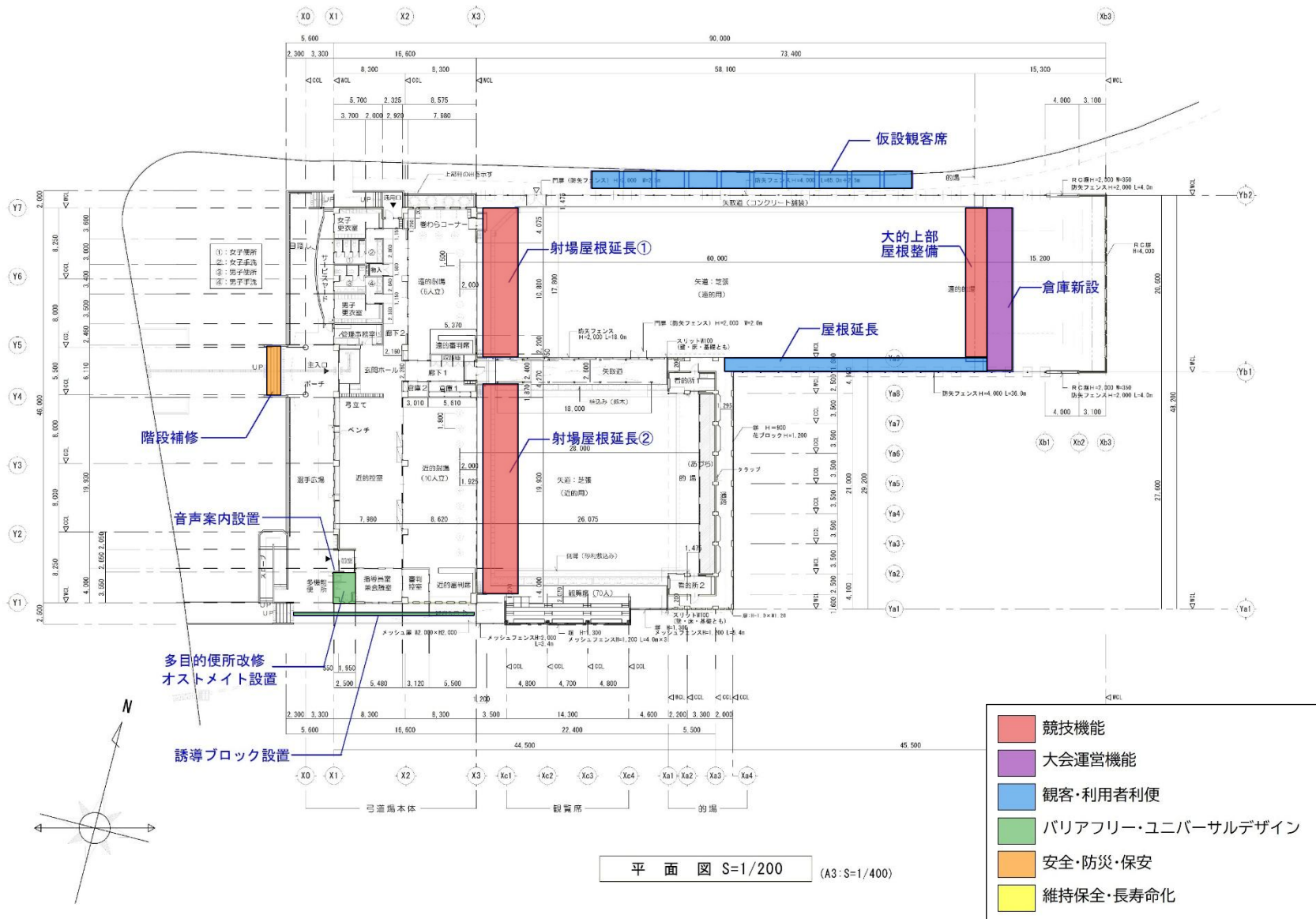
### 整備箇所の整理

- 弓道場については、遠的大的上部及び矢取道の屋根整備を優先的に実施し、国スポ開催に必要な施設水準の確保を図る。
- なお、多目的トイレ入口のインターホンについては、対応方法を含めて要検討とする。

区分	整備箇所	概要
競技機能	遠的大的上部屋根整備	• 遠的競技環境を改善し、競技条件の安定化を図るため
	射場屋根延長	• 射場の競技環境を向上し、日射・降雨への対応を図るため
大会運営機能	遠的倉庫新設	• 備品・用具の保管機能を確保し、大会運営を円滑化するため
観客・利用者利便性	矢取道屋根延長	• 矢取道の移動環境を改善し、降雨時の利便性を高めるため
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	多目的トイレ改修	• インターホン、オストメイト対応を追加し、多様な利用者に対応するため
	観客席誘導ブロック設置	• 視覚障がい者等の誘導性を確保するため
	音声案内追加	• 視覚障がい者等への案内機能を補強するため
安全・防災・保安	外部階段補修	• 外部動線の安全性を確保し、転倒リスクを低減するため

# (6)奥武山公園 弓道場

## 整備箇所イメージ図



## (6)奥武山公園 弓道場

### 整備案の概算整理

項目		規模・仕様	単価	数量	単位	改修費概算
建築	遠的大的上部屋根整備		377,000	45	m <sup>2</sup>	16,965,000
	射場屋根延長	近的97m <sup>2</sup> 、遠的70m <sup>2</sup>	377,000	167	m <sup>2</sup>	62,959,000
	遠的倉庫新設		227,000	57	m <sup>2</sup>	12,939,000
	矢取道屋根延長		227,000	47	m <sup>2</sup>	10,669,000
	多目的トイレ改修	呼出しボタン、オストメイト追加	1,500,000	1	か所	1,500,000
	外部階段補修		40,000	17	m <sup>2</sup>	680,000
	観客席誘導ブロック設置		5,200	21	m	109,200
機械設備	音声案内追加		580,000	1	か所	580,000
<b>合計</b>						<b>106,401,200</b>

### 整備スケジュール(案)

作業項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本設計(基本計画含む)					■				
実施設計					■				
各種手続き等					■				
改修工事						■			
大会リハーサル								●	
国スポ開催									●

# (7) 沖縄空手会館

## 施設の概要

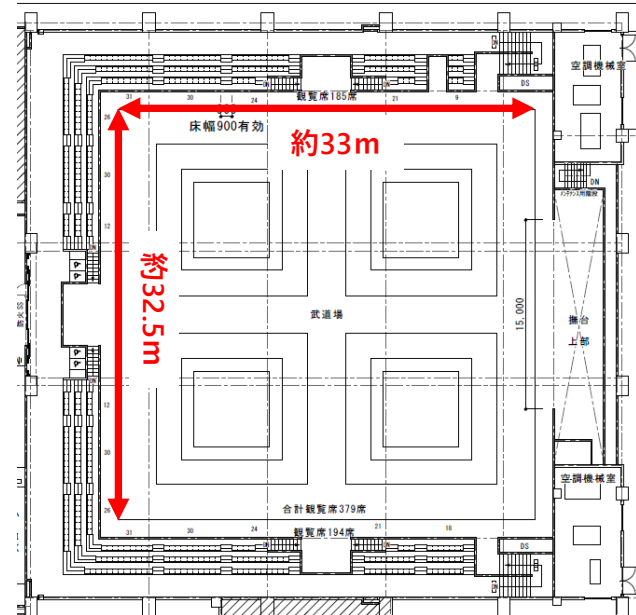
項目	施設情報
所在地	沖縄県豊見城市字豊見城854-1
敷地面積	38,718.00㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造
建築・延床面積	道場施設：建築面積約6,067.04㎡、延床面積約5,916.89㎡、地上3階 展示施設：建築面積約2,000.33㎡、延床面積約1,802.50㎡、地上2階 特別道場：建築面積約111.52㎡、延床面積約90.72㎡、地上1階
竣工・供用開始	平成28年12月竣工、平成29年3月供用開始
法定耐用年数	60年
総事業費	約64億円（建設費33億円、用地購入費22億円、設計委託費9億円）



施設外観



武道場全景



武道場仕様

**■ 武道場の規格**

長辺：約33m  
 短辺：約32.5m  
 面積：1,072㎡（試合場）  
 観覧席：380席

## (7) 沖縄空手会館

### 施設の老朽化状況

- 沖縄空手会館は、施設全体として大規模な改修を要する状況ではないが、通路天井の雨漏り、外壁のひび割れ、スロープの劣化、空調設備の更新時期到来など、部分的に劣化が進行している。
- このため、安全性・快適性の確保に向け、優先度を踏まえた計画的な修繕・更新が必要である。

区分	調査項目	現況・劣化状況	推定劣化度
建築	通路天井	・ 通路天井で雨漏りが継続。R5に補修したがR6にも再発しており、天井内ダクトによる結露の可能性あり	C
	外壁（コンクリート角部）	・ 雷雨時に外壁コンクリートの一部が落下。緊急性は高くない	B
	外壁	・ 建設2年後に改修済みだが、外壁にひび割れを現場で確認	C
	屋上防水	・ 屋上は過去に雨漏りがあり、一部防水塗装工事を実施済み	A
外構	身体障がい者用スロープ	・ 個別施設計画では、竣工後にひび割れが生じ、H30に瑕疵修繕後も同部に亀裂・溝が生じ、R2.9に再修繕済みだが、地面のひび割れを現場で確認	C
設備	道場照明設備	・ LED照明交換時に可動足場を要するため計画更新が必要。天井ライトは将来的に改修必要。	B
	空調本体	・ 空調本体は耐用年数上、買替え時期。	C
特別道場	板間	・ 個別施設計画では、風雨の影響により板間に汚損・塗装剥離が生じ、修繕を要するとされる。	C

(A = 良好、B = やや劣化、C = 劣化進行、D = 著しい劣化、E = 重大な劣化／更新要)

# (7) 沖縄空手会館

## バリアフリーの状況

分類	チェック項目	評価	補足（現地観察・資料コメント）
1. 敷地内通路・出入口	通路幅120cm以上	○	メインエントランス～展示棟～道場間で車いす通行可能幅を確保。
	滑りにくい仕上げ	○	外部はノンスリップ仕上げ。内部はフラットな磁器タイル・長尺シート。
	段差なし／スロープあり	○	屋外アプローチ・館内動線は段差解消済。屋外に勾配スロープ設置。
	出入口幅80cm以上	○	自動ドアによる有効開口900mm以上。
	自動ドア等で容易に開閉	○	自動扉（メイン／展示棟入口ともに設置）。
2. 廊下・動線	幅120cm以上	○	廊下幅は概ね180cm程度確保。
	滑りにくい仕上げ	○	内装は長尺塩ビシート仕上げ。
	階段・傾斜路前に点状ブロック	△	主要動線にはあり、一部補助経路は未確認。
3. 階段・傾斜路	手すり設置	○	両側に手すり設置。
	勾配1/12以下	○	建築確認時点でバリアフリー法適合設計。
	段鼻色コントラスト	○	明度差明確な段鼻テープあり。
	滑り止め仕上げ	○	段部にノンスリップ材を施工。
4. エレベーター	各階停止	○	展示棟～多目的道場を結ぶエレベーターあり。
	出入口幅・籠奥行確保	○	出入口幅900mm・奥行1400mm超。
	操作盤高さ適正	○	車いす使用者高さに合わせ設計。
5. 便所	車いす用便房あり	○	各階に多目的トイレあり。
	オストメイト対応便房	○	本館1階トイレに設置。
	出入口段差なし	○	全箇所フラット。
	手すり・便座配置適切	○	手すりL型・背面バー設置済。
6. 駐車場	車いす用区画（幅350cm）	○	駐車場入口に2台分確保。館内へスロープ接続。
	出入口近接配置	○	メインエントランス至近に設置。
7. 案内・標識	バリアフリー案内表示	○	ピクトサイン整備（トイレ・EV・多言語対応）。
	点字・誘導ブロック設置	△	主要経路に線状ブロックあり、館内点字案内板は限定的。
8. 客席・観覧席	車いす席確保	○	メインアリーナ観覧席前列に車いすスペース。
	同伴者席隣接	○	車いす席に隣接して一般席配置。

資料：沖縄県福祉のまちづくり条例等を参考に作成

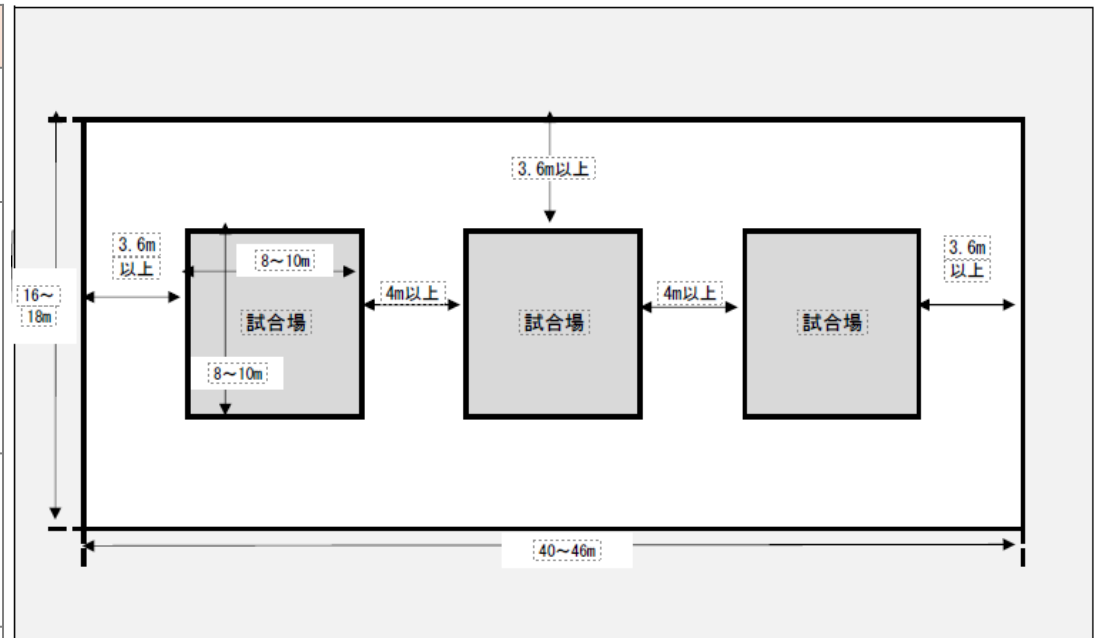
## (7) 沖縄空手会館

### 国スポ基準との整合性(柔道)

- 主道場の長辺が約33mであり、柔道競技に必要な3面構成（40～46m程度）を満たせないため、国スポ施設基準には適合しない。隣接研修室を活用した練習場機能の補完は考えられるが、正式会場としては2面配置が限界であり、単体会場としての適合性は低い。

#### ■ 柔道競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ施設基準	適合性
● 規定の競技場 3面を有する柔道場又は体育館	× (長辺約33mに2面。基準より1面不足)
● 試合会場に隣接した練習場 (150畳程度) ※約250㎡	△ (武道場隣接の研修室 (195㎡×2室) を間仕切りなしで使用する場合可)
● 2つ以上の隣接した試合場を設ける場合、両試合場の間には4mの共用の安全地帯を確保しなければならない。	× (長辺約33mに2面のみ設置可能)
● 試合場は原則として床面に直接畳を設置する。ただし、床面が固く弾力がない場合はかさ上げするなど、選手の安全を考慮して設置する。	—



資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版（案）」、国際柔道連盟「試合審判規定」から抜粋

## (7) 沖縄空手会館

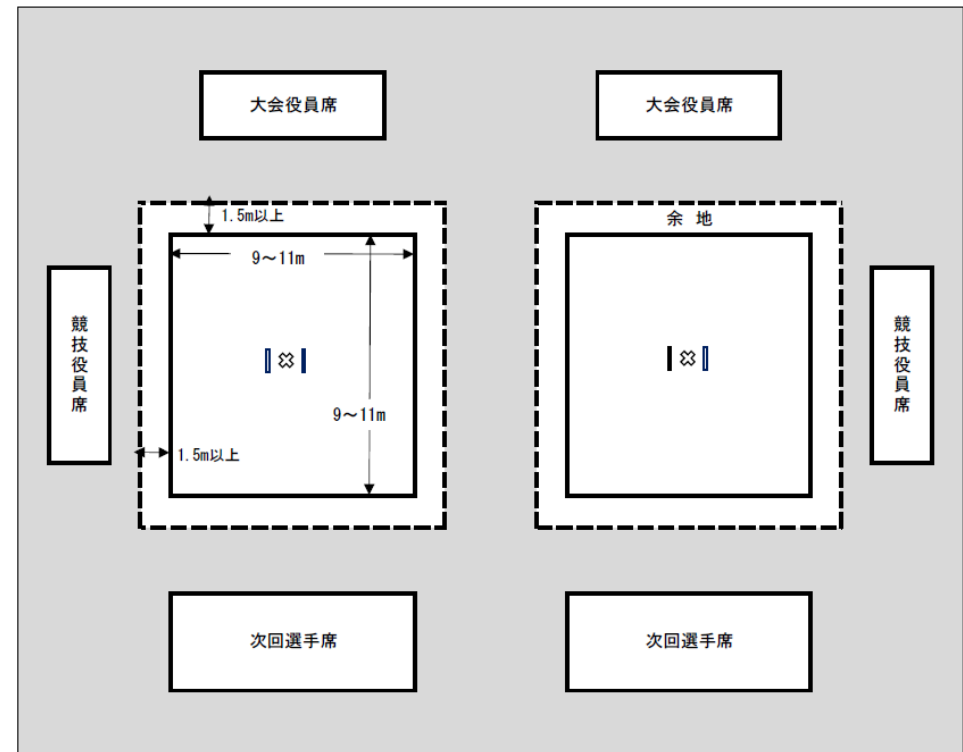
### 国スポ基準との整合性(剣道)

- 剣道競技に必要な試合場2面の設置は可能であり、床も板張りで競技実施に対応できるが、2面間距離や競技役員席の配置、試合場外側1.5m以上の余地の確保に余裕が少ない。
- このため、国スポ基準には概ね対応可能である一方、会場運営上は制約の大きい条件付き適合と評価される。

#### ■ 剣道競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
● 規定の競技場 2面を有する剣道場又は体育館	○ (長辺約33mに2面は可。1面辺り約12mで2面間及び役員席の余裕は少ない)
● 試合場の床は、板張を基本とする	○
● 試合場は、境界線を含み一辺を9mないし11mの正方形または長方形とする	○ (長辺約33mに2面は可)
● 試合場の外側に原則として1.5m以上の余地を設ける	○ (1.5mを超える余地は少ない)

資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版(案)」、(公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」及び「剣道試合・審判細則」から抜粋



## (7) 沖縄空手会館

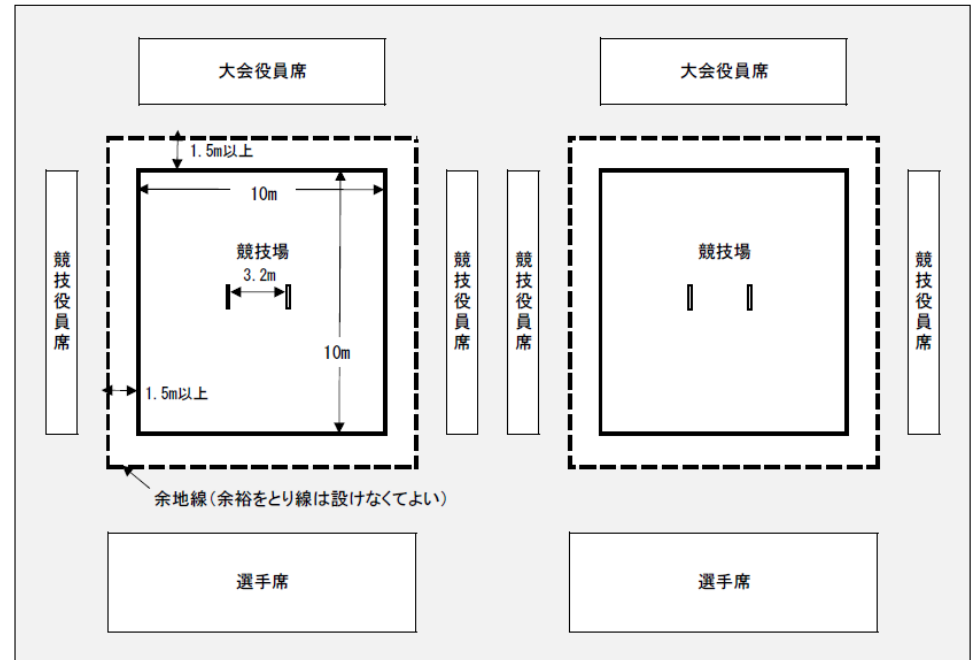
### 国スポ基準との整合性(銃剣道)

- 銃剣道競技に必要な試合場2面の設置は概ね可能であり、床条件にも対応できるが、1面あたり約13mを要するため競技役員席の配置に余裕が少なく、試合場外側の1.5m以上の余地についても最小限の確保にとどまる。
- このため、国スポ基準には概ね対応可能である一方、会場運営上は制約を伴う条件付き適合と評価される。

#### ■銃剣道競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
● 規定の競技場 2面を有する体育館	△ (1面につき約13m。競技役員席の確保は難しい)
● 試合場の床は、板張を基本とする	○
● 試合場は、区画線を含み一辺を10mの正方形を基準とする	○
● 試合開始線は、試合場の中心点から左右それぞれ1.6mの均等の位置に表示するものとする	○
● 試合場の外側に1.5m以上の余地を設けることを原則とする	○ (1.5mを超える余地は少ない)

資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版（案）」、  
（公社）全日本銃剣道連盟「銃剣道試合・審判規則」及び「銃剣道試合・  
審判細則」から抜粋



## (7) 沖縄空手会館

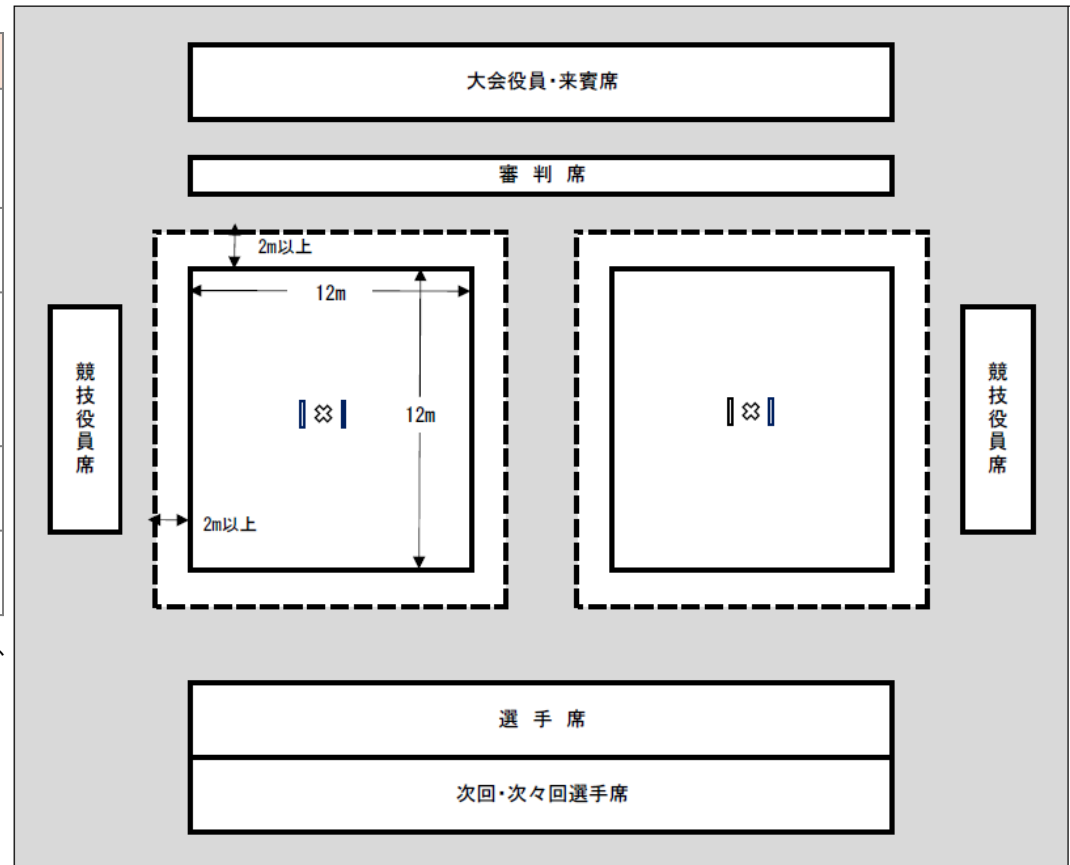
### 国スポ基準との整合性(なぎなた)

- 床の状態や運営対応の面では活用可能性があるものの、なぎなた競技で必要となる2面のコートを確認するには主道場規模が不足しており、競技役員席やコート外側2m以上の余地も確保できない。
- このため、国スポ施設基準には適合せず、正式会場としての活用は困難と評価される。

#### ■ なぎなた競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
● 規定のコート2面を有する体育館または武道館	× (長辺は1面につき最低16m要するため、2面は厳しい)
● コートは区画線を含み12m四方の広さとする	× (2面設置すると競技役員席が確保できない)
● コートの外側に2m以上の余地を有する	× (長辺は1面につき最低16m要するため、2面の余地、役員席など設置不可)
● 各線は幅5cmの白線とし、長さは外側から測る	—
● コートライン以外ラインをなくすことが望ましい	—

資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版(案)」、  
(公財)全日本なぎなた連盟「競技規定・審判規定」から抜粋



## (7) 沖縄空手会館

### 国スポ基準との整合性のまとめ

- 沖縄空手会館は、剣道及び銃剣道は配置可能であるものの、試合場間隔や役員席配置に余裕が少なく、限定的な適合にとどまる。
- 柔道は面数不足、なぎなたは安全基準未達となるため、国スポ基準との整合性は低くなる。

### ■国スポ施設基準適合性一覧

競技名	国スポ基準の主な要件	空手会館での配置可能性	主な課題	総合判定
柔道	3面設置で長辺40～46m必要	長辺33mのため3面不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 面数不足（物理的に基準未達）</li> </ul>	不適合（開催困難）
剣道	2面設置、試合場外側1.5m以上の余地確保	2面設置は可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 面間距離は近い</li> <li>• 役員席配置の余裕は少ない</li> <li>• 外側余地1.5mの余地は少ない</li> </ul>	適合するが、試合場間の距離、役員席配置にゆとりは少ない
銃剣道	1面あたり長辺約13m + 外側1.5m余地	面配置は可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 面間距離は近い</li> <li>• 役員席配置の余裕は少ない</li> <li>• 外側余地1.5mの余地は少ない</li> </ul>	適合するが、試合場間の距離、役員席配置にゆとりは少ない
なぎなた	1面あたり長辺約16m + 外側2m余地	面配置は理論上可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 役員席確保不可</li> <li>• 外側2m余地確保不可</li> </ul>	不適合（安全基準未達）

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 施設の概要

項目	施設情報
所在地	南城市大里字大里1329番地
敷地面積	137,347㎡
構造・階数	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上1階
建築・延床面積	1,400㎡ スモールポア（SB）射撃場：600㎡ エアライフル（AR）・ビームライフル（BR）射撃場：800㎡
建築年	昭和61年（1986年）【築40年】
法定耐用年数	60年
耐震性	有
根拠法令等	沖縄県奥武山総合運動場の設置及び管理に関する条例、 指定射撃場の指定に関する内閣府令
総事業費	昭和61年（1986年）：不明 平成16年（2004年）：15,600千円（改修） 平成23年（2011年）：26,864千円（改修）

項目	仕様・概要
構造・表層	スモールポア（SB）射撃場 26射場 エアライフル（AR）15射場 ビームライフル（BR）11射場
縦(m)×横(m)	スモールポア（SB）射撃場：60×50 エアライフル（AR）・ビームライフル（BR）射撃場：20×50
観客席数 (固定席)	0



スモールポア射撃場



エアライフル・ビームライフル射撃場

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 施設の老朽化状況

区分	項目	現況・劣化状況	推定劣化度
スモールボア射撃場	射座	・射座は特に問題なし	A
	建屋構造	・鉄骨造・コンクリートブロック造で運用中。構造躯体は劣化が進行	C
	建屋屋根	・老朽化は顕著だが、現在雨漏りは確認されていない	C
	外壁	・外壁の顕著な損傷はなし	B
	天井	・天井材の劣化が進行	C
	中間遮蔽（コンクリート）	・一部で爆裂しそうな状況がみられる	D
	標的木枠	・木枠が腐っている箇所がある	D
	標的下部（監的壕）	・監的壕は現在使用していない。現況で著しい破損はないが、用途見直しが必要	B
	開閉扉	・扉の劣化が顕著	D
	照明	・照明は現況で大きな支障はない	A
	トイレ	・老朽化が顕著	D
事務室・倉庫等の配置	・諸室は特に問題なし	B	
エアライフル場	射座	・射座は特に問題なし	C
	建屋構造	・特に問題なし	A
	建屋屋根	・特に問題なし	A
	外壁	・特に問題なし	A
	床	・ひび割れを確認	D
	開閉シャッター	・台風で何度もシャッターが吹き飛ばされているが、現況は問題なし	A
	照明	・照明は現況で大きな支障はない	A

(A = 良好、B = やや劣化、C = 劣化進行、D = 著しい劣化、E = 重大な劣化／更新要)

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 施設の老朽化状況

- スモールボア射撃場は、建屋屋根の劣化が進行しているほか、中間遮蔽コンクリートの爆裂懸念、的木枠の腐朽、塗装剥離が確認される。
- エアライフル場は、シャッターは台風で複数回吹き飛ばされた経緯があるが、一部床面のひび割れがある程度で、大きな劣化はみられない。

区分	調査項目	現況・劣化状況	推定劣化度
スモールボア射撃場	建屋屋根	• 屋根の劣化は顕著である	C
	中間遮蔽（コンクリート）	• 一部で爆裂の可能性がある • 木枠の腐朽、塗装剥離が確認	D
	射場外皮・開閉部	• 台風時に屋根保護のため戸を全開にする運用。戸板は飛散のおそれあり	D
	トイレ	• 老朽化が顕著である	D
エアライフル場	床面	• ひび割れしている箇所がある	C
	シャッター	• 台風で何度もシャッターが吹き飛ばされているが、現状問題なし	C

(A = 良好、B = やや劣化、C = 劣化進行、D = 著しい劣化、E = 重大な劣化／更新要)

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### バリアフリーの状況(スモールボア射撃場)

分類	チェック項目	評価	補足(現地観察・資料コメント)
1. 敷地内通路・出入口	通路幅120cm以上	△	通路は狭く、射座側動線で一部すれ違い困難。
	滑りにくい仕上げ	△	コンクリート舗装の老朽化あり。雨天時は滑りやすい。
	段差なし/スロープあり	△	1番射座側にスロープ1箇所のみ設置、反対側は未整備。
	出入口幅80cm以上	○	主出入口で基準確保。
	自動ドア等で容易に開閉	×	手動開閉で、重い扉あり。
2. 廊下・動線	幅120cm以上	△	射場通路幅は十分でないが、射撃者・審判動線は確保。
	滑りにくい仕上げ	○	室内床は防滑塗装仕上げ。
	階段・傾斜路前に点状ブロック	×	視覚障害者誘導設備なし。
3. 階段・傾斜路	手すり設置	△	スロープ片側のみ手すりあり。
	勾配1/12以下	△	一部急勾配。
	段鼻色コントラスト	×	明度差なし。
	滑り止め仕上げ	△	コンクリートの摩耗あり。
4. エレベーター	各階停止	-	-
	出入口幅・籠奥行確保	-	-
	操作盤高さ適正	-	-
5. 便所	車いす用便房あり	△	駐車場に多目的トイレあり、射場内は未対応。
	オストメイト対応便房	×	なし。
	出入口段差なし	△	新設トイレはフラット、旧棟は段差あり。
	手すり・便座配置適切	△	最低限のL型手すり設置。
6. 駐車場	車いす用区画(幅350cm)	○	駐車場入口に1区画設置済。
	出入口近接配置	○	トイレ及び射場入口に近接配置。
7. 案内・標識	バリアフリー案内表示	×	サイン・ピクト未設置。
	点字・誘導ブロック設置	×	設置なし。
8. 客席・観覧席	車いす席確保	×	観覧席なし、仮設対応を要す。
	同伴者席隣接	×	該当設備なし。

資料：沖縄県福祉のまちづくり条例等を参考に作成

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### バリアフリーの状況(エアライフル・ビームライフル射撃場)

分類	チェック項目	評価	補足（現地観察・資料コメント）
1. 敷地内通路・出入口	通路幅120cm以上	×	通路は狭い。
	滑りにくい仕上げ	○	
	段差なし／スロープあり	×	未整備。
	出入口幅80cm以上	○	
	自動ドア等で容易に開閉	×	手動開閉。
2. 廊下・動線	幅120cm以上	×	射場通路幅は狭い。
	滑りにくい仕上げ	○	室内床は防滑塗装仕上げ。
	階段・傾斜路前に点状ブロック	×	未整備。
3. 階段・傾斜路	手すり設置	×	未整備。
	勾配1/12以下	△	一部急勾配。
	段鼻色コントラスト	×	明度差なし。
	滑り止め仕上げ	△	コンクリートの摩耗あり。
4. エレベーター	各階停止	—	—
	出入口幅・籠奥行確保	—	—
	操作盤高さ適正	—	—
5. 便所	車いす用便房あり	—	駐車場に多目的トイレ新設、射場内は未対応。
	オストメイト対応便房	—	—
	出入口段差なし	—	—
	手すり・便座配置適切	—	—
6. 駐車場	車いす用区画（幅350cm）	○	駐車場入口に1区画設置済。
	出入口近接配置	○	トイレ及び射場入口に近接配置。
7. 案内・標識	バリアフリー案内表示	×	サイン・ピクト未設置。
	点字・誘導ブロック設置	×	設置なし。
8. 客席・観覧席	車いす席確保	×	観覧席なし、仮設対応を要す。
	同伴者席隣接	×	該当設備なし。

資料：沖縄県福祉のまちづくり条例等を参考に作成

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

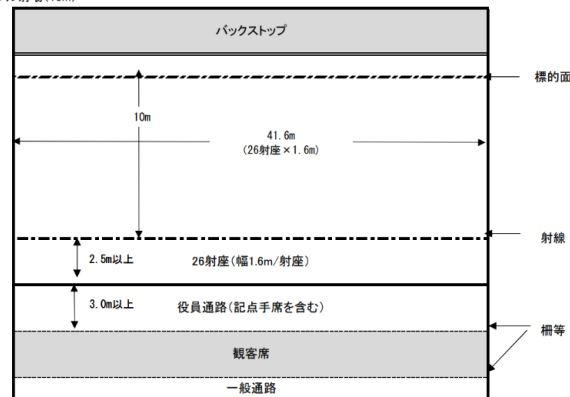
### 国スポ基準との整合性(エア・ライフル/スモールボア・ライフル)

- 国スポ開催基準上必要となる射座数等が不足しており、現状では十分な適合性を満たしていない。

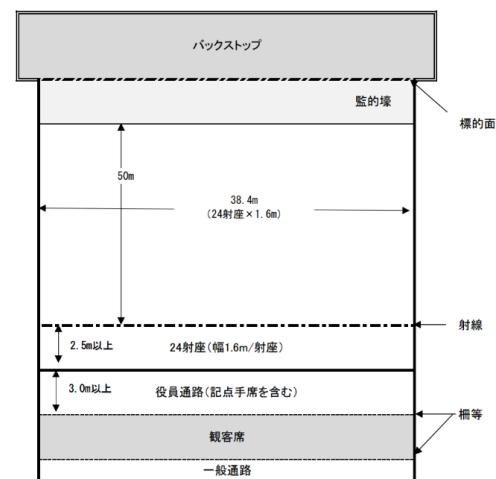
### ■ライフル射撃競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
■規定のライフル射撃場(エア・ライフル 26 射座1)	×15射座
■規定のライフル射撃場(スモールボア・ライフル 24 射座1)	○26射座
■規定のライフル射撃場(光線銃 13 射座の体育館 1)	×11射座
■規定のライフル射撃場(ピストル18射座1)	×14射座 (県警)
■エア・ライフル(AR)と スモールボア・ライフル(SBR)とも電子標的装置とすることが望ましい	○
10m射場は、屋内でなければならない。	○
ビーム・ライフル射撃は、屋内でなければならない。	○
●各射場の射座の広さは、以下の基準とする	
ピストル射場以外・・・1.6m (幅) ×2.5m (奥行) 以上	○
ピストル射場・・・1.0m (幅) ×1.5m (奥行) 以上	○
【1】エア・ライフル射場 (10m)	
エア・ライフル射場で3姿勢競技・伏射競技を実施する場合には、隣接射手を妨げることなく標的交換ができる設備を設置することで、射座の幅を1.25mに縮小してもよい	×
【2】スモールボア・ライフル射撃 (50m)	
スモールボア・ライフル射場では、多数の射手が参加できるようにするため、隣接射手を妨げることなく標的交換ができる設備を設置することで、射座の幅を1.25mに縮小してもよい	× 機材数が不足

1. エア・ライフル射場(10m)



2. スモールボア・ライフル射撃(50m)



資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版（案）」、（公社）日本ライフル射撃協会「ライフル射撃場の公認に関する規程」及び「ゼネラルテクニカルルール」から抜粋

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

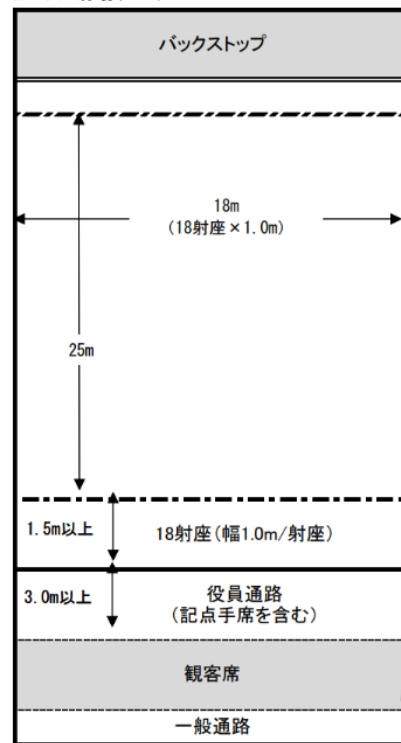
### 国スポ基準との整合性(ピストル/ビーム・ライフル)

- ピストル射場、ビーム・ライフル射場ともに、後方の通路・観客席・駐車場・安全区分等の施設基準にて不適合である。

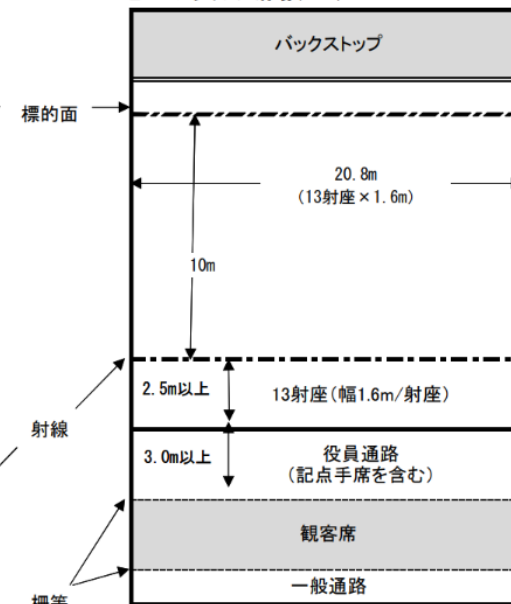
#### ■ライフル射撃競技(国スポ施設基準)との適合性

国スポ開催施設基準	適合性
【3】ピストル射場 (25m)	×
【4】ビーム・ライフル射場 (10m)	
●各射座の後方は、原則として、以下に準じた設備が完備されているものとする	
記点手席を含む役員通路・・・約3.0m以上	×
観客席（階段式が望ましい）・・・約4.0m以上	×
一般通路（最上段が望ましい）・・・約3.0m以上	×
●50台以上収納可能な駐車場（又はスペース）を具備しなければならない	×
●観客席は少なくとも射撃線の後方 5 m 以上の位置に設置された適当な柵などによって射手や競技役員が活動する空間とは区別されなければならない	×
●標的面の最低照度は1,000ルクスとする（ビーム・ライフル射撃場は400～1,000ルクス）	○
●射場全体の照度は、500ルクス以上を推奨	○

3. ピストル射場(25m)



4. ビーム・ライフル射場(10m)



資料：沖縄県「第88回国民スポーツ大会競技施設基準・暫定版（案）」、  
（公社）日本ライフル射撃協会「ライフル射撃場の公認に関する規程」及び「ゼネラルテクニカルルール」から抜粋

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 施設改修の方針検討(スモールボア・ライフル射撃場)

- ・ 老朽化対策に加え、必要射場の再編、観客対応、バリアフリー、設備面の再整備が必要である。
- ・ 開口部や遮蔽体の更新を優先しつつ、AR・SB・ビームライフルの国スポ基準適合を図る。不足機能は仮設・運営対応で補完する。

区分	主な課題	改修重要度	対応方針(案)
老朽化	・ 屋根・外皮・建具の劣化が進行し、台風時の飛散や耐風性低下のおそれがある	高	改修：開口部の更新を優先し、耐風性能を向上させる
	・ 中間遮蔽コンクリートに劣化兆候があり、標的部木枠にも腐朽・塗装劣化がみられる	高	改修：遮蔽体、標的部木枠の補修・更新を実施
施設基準	・ 必要射場構成に対し、射座数・電子標的装置が不足している。	中	再編+改修：ピストル射場は外部会場活用を前提とし、当該施設はAR・SB・ビームライフルを中心に再構成
	・ SB射場は現状26射座だが、基準や運用を踏まえた再編の余地がある。	高	再編：SB縮小とAR併設を前提に、射場構成・平面計画を見直す。
安全性・機能	・ 実弾系と非実弾系の機能が混在しており、安全面・運営面で整理が必要である。	高	再編：実弾系と非実弾系を分離し、用途別のゾーニングを明確化する。
競技運営	・ 射場後方の役員通路、一般通路、観客スペースが不足し、動線分離が不十分である。	高	改修：射手・役員・観客の動線分離を基本に、後方空間を再構成する。
観客対応	・ 常設観客席や観戦スペースが不足し、日除け・雨除け機能も十分でない。	中	改修+仮設：恒久的な観客帯の確保を基本とし、不足分は仮設観客席で補完する。
バリアフリー	・ スロープが限定的で、案内表示や車いす観覧スペースも不足している。	高	改修：複数箇所のスロープ、車いす観覧スペース、誘導サインを計画的に整備する。
運営機能	・ トイレのBF対応が不十分で、諸室・倉庫配置も大会運営上非効率である。	高	改修+再配置：トイレ改修を基本とし、諸室は再配置・外出しを行い、不足分は仮設で補完する。
設備	・ 空調がなく、電子標的装置や関連機材も不足	高	改修+仮設：空調設備を新設。照明更新、電子標的装置は仮設で補完
外構・駐車場	・ 駐車台数が不足し、大会時の仮設受入体制も弱い	低	仮設+運営対応：臨時駐車場、仮設ヤード、シャトル運用を含めた大会時運営で補完

## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 施設改修の方針検討(エアライフル/ビーム・ライフル射撃場)

- 既存施設の活用を基本としつつ、射座数不足、後方スペース不足、空調未整備への対応が必要である。
- 特に、安全性・運営性の確保に向けた後方空間の拡張と空調整備を優先し、不足する諸室や駐車場等は仮設・運営対応で補完する。

区分	主な課題	改修重要度	対応方針(案)
施設基準	• 10m系射場として活用可能であるが、国スポ開催に必要な射座数が不足	中	再編+改修：AR/BRの開催構成を明確化し、必要射座数を確保する平面計画へ見直す
	• AR射場は電子標的装置及び関連機材が不足	低	改修：電子標的装置を導入し、競技運営に必要な周辺機材もあわせて整備
競技機能	• ARとBRの運用条件が異なるため、競技ごとの設営・転換方法の整理が必要	中	再編：10m射場を一体活用しつつ、競技別の設営切替が可能な運用計画とする
安全性・運営動線	• 射座後方の役員通路、一般通路、観客帯が不足し、動線分離が不十分	高	改修：射手・役員・観客の動線分離を基本に、後方空間を拡張
	• 観客席・観戦スペースが不足し、観客と競技エリアの区分も不十分	高	改修+仮設：観戦スペースを拡張し、不足分は仮設観客席・仮設区画で補完
バリアフリー	• スロープ、案内表示、車いす利用者の観戦環境が不足している。	中	改修：出入口から観覧・競技エリアまでの移動経路を見直し、スロープ、案内表示、車いす観覧スペースを整備
諸室・運営支援	• 競技運営・役員対応に必要な諸室や準備スペースが不足	低	仮設：不足分は仮設諸室で補完
設備	• AR場は空調が未整備で、競技環境の安定性確保に課題	高	改修：空調設備を新設
	• 照度条件は概ね満たすが、運営機材や設営機能の充実が必要	中	改修+仮設：照明は更新。競技備品、設営機材、表示・運営設備は仮設で補完
外構・駐車場	• 駐車台数や大会時の受入スペースが不足	低	仮設+運営対応：臨時駐車場、仮設受付、シャトル運用等を含めた大会時運営で対応

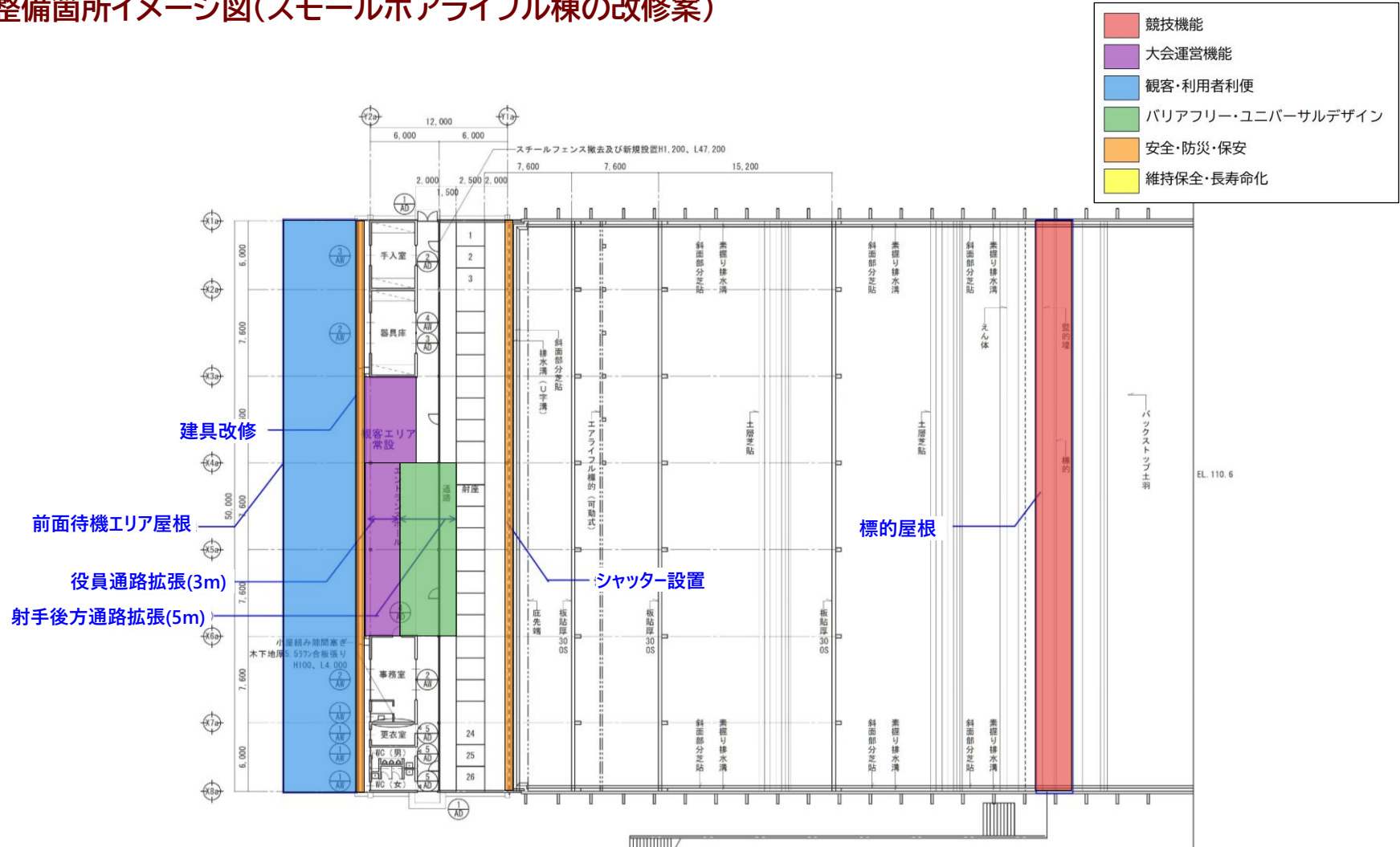
## (8) 沖縄県ライフル射撃場

### 整備箇所の整理

区分	整備箇所	概要
競技機能	SB射撃場 前面拡張（屋根設置）	<ul style="list-style-type: none"> <li>前面空間の拡張と屋根設置により、利用環境と観戦環境の向上を図る</li> </ul>
	SB射撃場内のAR射撃場増築	<ul style="list-style-type: none"> <li>SB射撃場内にAR射撃場を整備し、必要射座数の確保と競技機能の再編を図る</li> </ul>
	空調設備（スポットクーラー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技環境の安定化に向け、局所的な空調設備を導入</li> </ul>
	LED照明新設（SB射撃場内のAR射撃場増築）	<ul style="list-style-type: none"> <li>増築するAR射撃場に必要照度を確保するため、LED照明を新設</li> </ul>
大会運営機能	SB射撃場 改修（通路拡張・観客スペース）	<ul style="list-style-type: none"> <li>射場後方の役員通路、一般通路、観客スペース確保のための拡張</li> </ul>
観客・利用者利便性	AR・BR射撃場 前面拡張（屋根設置）	<ul style="list-style-type: none"> <li>前面空間の拡張と屋根設置により、利用環境と観戦環境の向上を図る</li> </ul>
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	SB射撃場 段差解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>射場内外の段差を解消し、安全で円滑な移動を確保</li> </ul>
	バリアフリー化（スロープ大）	<ul style="list-style-type: none"> <li>スロープを整備・拡幅し、車いす利用者等のアクセス性を向上</li> </ul>
	音声案内追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障がい者等への案内機能を向上</li> </ul>
安全・防災・保安	SB射撃場 建具改修（折れ戸設置）	<ul style="list-style-type: none"> <li>建具を更新し、開閉性・安全性・耐風性の向上を図る</li> </ul>
	遮蔽体補修	<ul style="list-style-type: none"> <li>劣化した遮蔽体を補修し、安全確保に必要な性能を回復</li> </ul>
	LED照明改修（既存改修）	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要照度確保のための設備更新</li> </ul>

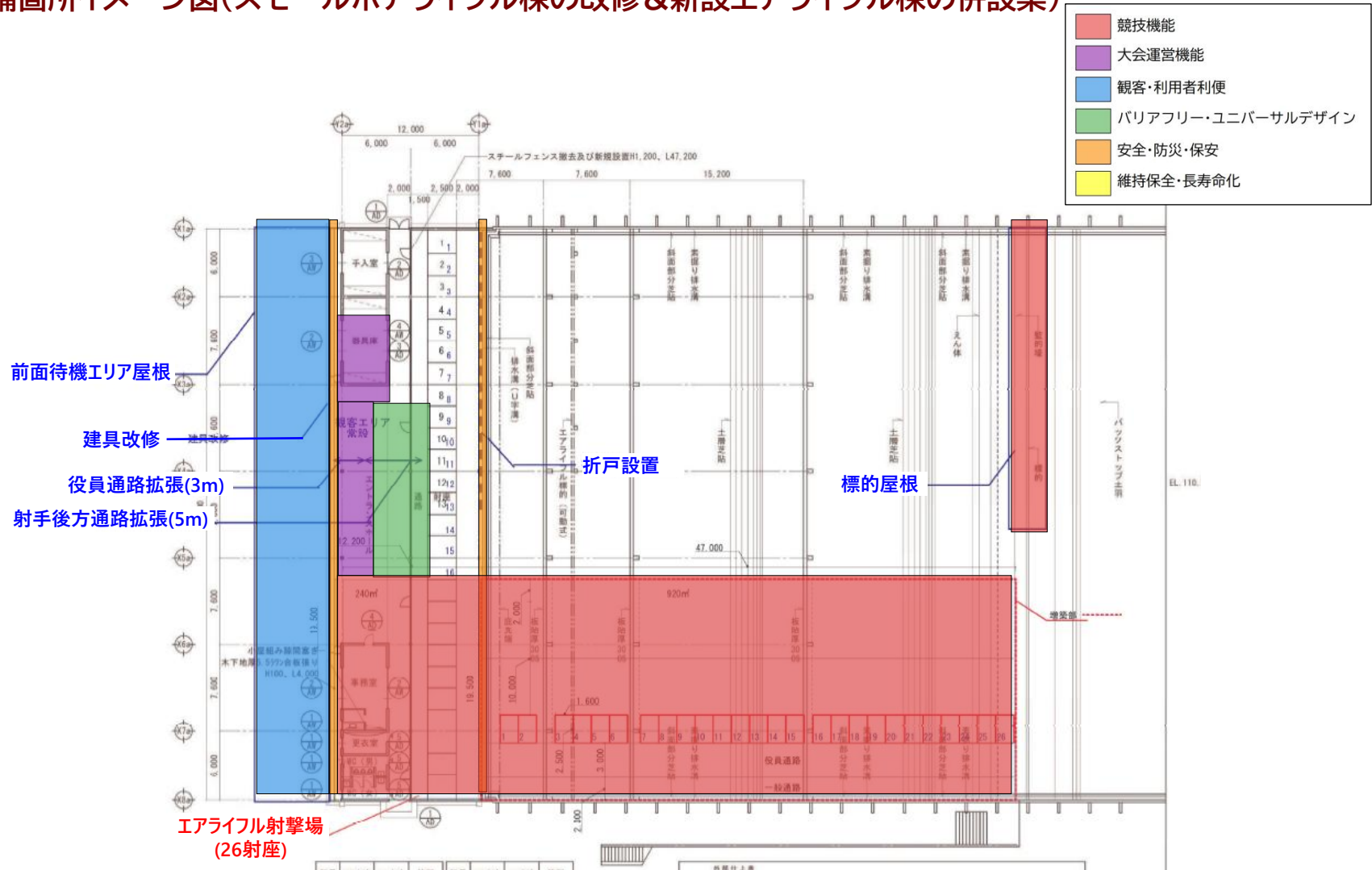
# (8) 沖縄県ライフル射撃場

## 整備箇所イメージ図(スモールボアライフル棟の改修案)



# (8) 沖縄県ライフル射撃場

## 整備箇所イメージ図(スモールボアライフル棟の改修&新設エアライフル棟の併設案)



# (8) 沖縄県ライフル射撃場

## 整備箇所イメージ図(エアライフル/ビームライフル棟の改修案)

- 競技機能
- 大会運営機能
- 観客・利用者利便
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- 安全・防災・保安
- 維持保全・長寿命化

